

C D プレーヤの測定方法

Methods of measuring the characteristics of reproducing equipment for digital audio compact discs

1. **適用範囲** この規格は、家庭用CDプレーヤ(以下、プレーヤという。)の電氣的・機械的特性に関する一般性能の測定方法及び表示方法について規定する。

2. **用語の意味** この規格で用いる用語の意味は、5.1~5.15によるほか、次による。

- (1) **基準周波数** 測定用ディスクの周波数を代表する周波数。
- (2) **フルスケールレベル** 録音されている16ビットのデジタル信号で、最大の正弦波信号が得られるときの信号レベル。

具体的にはプラス側の最大値は7FFFHであり、マイナス側の最大値は8001Hとなる。

- (3) **信号レベル** 記録されているデジタル信号の信号レベルは、フルスケールレベルの信号を基準に、この値との比をデシベル換算で表し、 dB_{FS} で示す。

$$X \text{ dB}_{\text{FS}} = 20 \log (A / B)$$

A = レベルを表示したい信号の実効値

B = フルスケールレベル信号の実効値

- (4) **基準録音レベル** 測定用ディスクの録音レベルを代表するレベル。
- (5) **基準負荷インピーダンス** 出力端子に接続される負荷を代表する負荷インピーダンス。
- (6) **基準出力レベル** 負荷に供給される出力レベルを代表するレベル。

3. 標準測定条件

3.1 電 源

- (1) **電源電圧** 交流電源の場合は100Vrms、直流電源の場合は定格値とし、 $\pm 1\%$ の範囲内にあることとする。ただし、判定に疑義が生じなければ $\pm 5\%$ の範囲内でもよい。
- (2) **電源周波数** 50Hz又は60Hzとし、 $\pm 2\%$ 以下の範囲内であることとする。
- (3) **電源波形**
 - (a) 交流の場合は、高調波ひずみ率が2%以下の正弦波電圧波形とする。
 - (b) 直流の場合は、リップル含有率が0.1%以下であることとする。